

# 沖縄シーサーラウンド

H27.2.7 in 沖縄県立南風原高等学校



沖縄県での開催は2回目となる沖縄シーサーラウンド！当初は、昨年10月に開催を予定しておりましたが、猛烈な台風19号の影響で延期となり、今月の開催となりました。年度末の多忙な時期ではありましたが、県内外から47名のみなさんが集い、体育・保健体育について熱く語り合いました。

## 1 教育課程の変化・教材開発について

トピックス1では、佐藤豊先生から、21世紀を生き抜く子供たちのためのこれからの体育に求められることについて、実践例を交えながらわかりやすく説明いただきました。特に、知識を中心とした教科では、「概念」をインプットして思考・判断し「言語力」としてアウトプットすることになるが、体育においては、「技術」について思



考・判断し「スキル」として表したり、「態度」について思考・判断して「自発性」として表現することも重要となってくるなど、体育ならではの思考力・判断力の育成について大きなヒントをいただきました。



## 2 体育・保健体育科の現状と課題 — 沖縄県教育庁保健体育課 —

＜運動時間が少ない児童生徒への支援の充実を！＞

実態を把握しているにも関わらず、運動時間が少ない子への取り組みを実施している学校は、小37%、中21%※にとどまっている。運動部活動に頼らない全校体制の取り組みを展開しよう。

＜遊びを支えるプレイリーダーを！＞ ※平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

遊びの必要条件である「時間の充足」「空間の充実」「仲間の存在」に加え、遊びを支えるプレイリーダーの存在が重要になってきてい

る。学校においても教師が「三つの間」に働きかけ、児童会、生徒

会や上級生がプレイリーダー的役割を果たし、児童生徒がいきいきと活動する環境を整えよう。

### 課題1 運動の実施状況

・ 体育の時間以外に全く運動しない子の割合



・ 一週間の総運動時間量



### 課題2 全校体制による体力向上策

運動時間が少ない児童生徒の実態を把握していますか？

把握している 小学校 60%  
中学校 72%

その児童生徒のための取組をされていますか？

実施している 小学校 37%  
中学校 21%



## 3 授業実践から見てきたもの



〔小学校〕6年表現 大門教諭・・・高学年からでは、心と体を解放することに時間がかかる。また、中・高の教育課程まで考え、系統性を踏まえて、各学年での指導を充実させたい。

〔中学校〕武道（空手道）手登根教諭・・・普及形Ⅰの分解を学習し、一つ一つの動きの意味を理解することで主体的な教え合いができ、相互評価も適格に行えるようになった。

〔高校〕1年体育理論 齋藤教諭・・・生徒相互の対話を生み出し、意見を引き出すため、参加型の学習形態を取り入れたことで意欲的に取り組み、自分の考えを深め思考力・判断力の育成につながった。

## 4 その他

後半では、「運動嫌いや運動を苦手としている子への支援」等についてグループ討議を行い、岩手、千葉、広島、大分、鹿児島から参加の先生方の貴重な実践も交え、熱い意見交換が行われました。また、夜の部も沖縄民謡をバックに清掃時体操に質問が集中！最後は、全員で「サクラ」を熱唱して、沖縄の熱い一日がおわりました。また、お会いできる日を楽しみにしております。

